

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

(1) 各専攻に共通するディプロマ・ポリシー

基礎的な知識・技能及び対話的コミュニケーション能力 (学士として必要な知識・技能及び対話を通じて相互理解・合意形成を図る力)
<ul style="list-style-type: none">・学士(専門職)として必要となる教養、言語・情報リテラシーを身に付け、状況に応じて活用することができる。・多様なステークホルダーの考え方や立場を理解した上、対話を通じて合意形成に導く技能を身に付けている。
価値創造の能力 (芸術文化を磨き、観光に生かして新たな価値を生み出していく力)
<ul style="list-style-type: none">・芸術文化及び観光が地域の活性化にどのような役割を果たすかについて問題意識を持ち、それを追究していく強い意志を持っている。・マネジメント、アカウントティング、事業創造に関する基礎的な理論・知識を身に付け、事業活動について継続性を担保する手法や、新たな価値を生み出していく意義について理解している。・芸術文化及び観光に関する知見を生かし、芸術文化と観光に関する事業活動を通じて交流人口を拡大し、地域を活性化する方策を考えることができる。
地域においてユニバーサルな社会づくりを推進する能力 (ダイバーシティ:多様性を理解し、相互に支え合う社会づくりを進める力) (サステナビリティ:安心・安全で持続可能な社会づくりを進める力)
<ul style="list-style-type: none">・多様性を理解し、共感し、他者と協調・協働して行動することができ、相互に支え合い、一人ひとりが持てる力を発揮し、活動できる社会づくりに取り組む姿勢を有している。・率先して、安心・安全の確保、環境の保全・改善に取り組む姿勢を有している。

(2) 主となる専攻が芸術文化分野の学生のディプロマ・ポリシー

芸術文化マネジメント能力 (様々な芸術文化と地域社会をコーディネートし、地域社会の課題を解決できる力)
<ul style="list-style-type: none">・文化施設の運営及び舞台芸術を中心に芸術文化に関する専門的知識を身に付け、芸術文化の力を広く社会に開き、地域の活性化に生かそうとする態度を有している。・地域固有の文化資源を芸術的観点から再発見し、芸術によって生み出される価値を付与することで、その芸術文化資源の発見・活用・発信の実務に適用していくことができる。・独創的かつ先端的な芸術文化の創造に取り組む姿勢を有している。・地域社会の課題を芸術文化の視点から見つけ、解決しようとするリーダーとしての姿勢を有している。
芸術文化学士（専門職）に求められる観光マネジメント能力 (観光分野の知見を活用し、芸術文化の新たな展開とそれに基づく地域の課題解決を進める力)
<ul style="list-style-type: none">・芸術文化活動を社会に広く発信するための基礎的なマーケティング能力を身に付けている。・観光地域づくりや観光産業を取り巻く現状や課題を理解し、芸術文化による地域の活性化の実務に適用できる。・地域の観光関連事業者の考え方や立場を理解し、連携することができる。

(3) 主となる専攻が観光分野の学生のディプロマ・ポリシー

観光マネジメント能力 (観光による地域の活性化に主体的に取り組む協働能力と観光業界で活躍するための多角的な思考能力)
<ul style="list-style-type: none">・観光の事業特性を理解し、他産業とのマネジメントの違いが理解できる。・観光地域づくりの意義を理解し、観光を通じて地域の活性化を図っていくという態度を有する。・マーケティング、経営学の基礎的な知識・理論を身に付け、観光事業の実務に適用していくことができる。・観光ビジネスにおける現実の課題を解決するための総合的判断ができる
観光学士（専門職）に求められる芸術文化マネジメント能力 (芸術文化分野の知見を活用し、観光分野での新たな価値をつくり出す創造力)
<ul style="list-style-type: none">・文化施設の運営及び舞台芸術を中心に芸術文化に関する基礎的な知識を身に付けて、芸術文化を観光に生かし、地域の活性化を図ろうとする態度を有している。・日本における文化政策や芸術文化を取り巻く現状や課題を理解したうえで、観光産業における実務に適用できる。・芸術文化が社会に果たす役割を理解して、地域の魅力づくりにつなげようとする姿勢を有している。